

日時	2021年1月9日(土) 9:30 ~12:00 天候：晴れ
場所	なにわエコ ECO スクエア 1階研修室、自然体験観察園・野草広場

講座・活動名	野草広場再生プロジェクト
参加者	12名(うち子ども 名) 構成：一般参加 名、エコボラ 10名、事務局 2名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	ラミネータ、フィルム、両面テープ、はさみ、カッター、かけや、つるはし、スコップ、草刈り、杭・ロープ補修、植物調査
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 草刈り鎌、はさみ、枝切りばさみ、調査用紙
振り返り エコボラ通信に 掲載することがあ ります。	<p>・「みんなでつくる観察園講座」はテーマが「野草広場」であったので、維持管理作業に集まったエコボラ全員に、レクチャーを行い、見つけた生き物の変遷と草刈り方針の確認、環境学習のための看板の作成と設置を行った。 出入口などを示す種類の文面のほか、意義やどんな管理をしているかを説明するメッセージを選び、看板の裏側にもショートメッセージをつけて、来園者が学べるように工夫した。</p> <p>・レクチャー後には、実生林での毎木調査チームと、ラミネートづくり、看板立てのチームと、野草広場の法面の草刈りのチームに分かれて、同時進行で行った。</p> <p>・法面の草刈り方針について (下図) 水路側の法面のカラムシは掘り起こす ススキの株は生き物のために一部残して半分程度刈り込む 畑側の法面の草丈は低くする 実生林境界のコナラ並木(法面)の下草は、通行に妨げになる部分は刈って、刈った場所に刈り草を積んでおく チガヤは実生林側の半分程度を生き物のために残し、水路側を刈り込む</p> <p>次回は2月6日(土)</p> <p>・探検路のロープをくりつけている竹の杭が劣化しているところが多いので、新たに角材を用意してもらうことになった。ロープをかけるための切れ込みもお願いしている。杭番号ラベルも必要な場所には用意し、場所は一致させる。</p> <p>・木製の杭の調達は、一回の作業に使う杭は5~6本位なので、在庫を確認しながら事務局にお願いしたい。シュロ縄はその都度事務局にお願いする。</p> <p>・法面の草刈りのやり残しと、チガヤ、ススキの刈り込みを行う(3月も)。</p>

スタッフ氏名	活動内容
中谷憲一	昆虫調査
鶴本華子	看板づくり
中島一彦	看板立て(穴掘り、杭打ち)

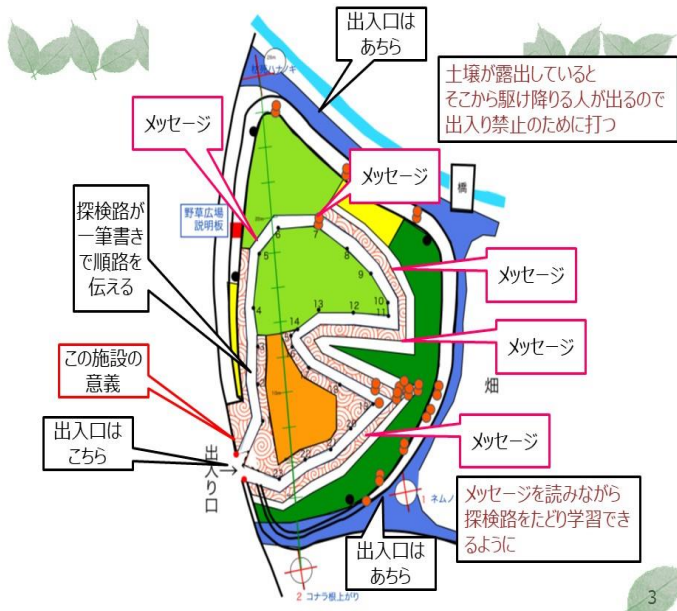
柘元慶子	レクチャー、看板づくり、看板立て
林耕太	草刈り、植物調査
岡田	草刈り、植物調査
渡辺	草刈り、植物調査
鈴川	法面の草刈り
芝崎	看板設置
北川	レクチャー、草刈り、植物調査
事務局 石田	(事前に 看板用 板と杭の準備)、杭打ち
事務局 栗山	(事前に 看板用 板と杭の準備)、杭打ち

いずれかに○→ () 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出



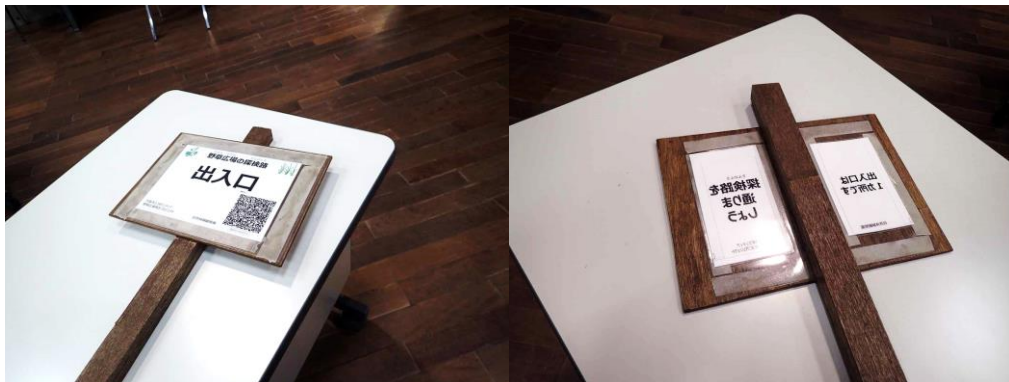
図面・写真等 添付面

日時	2021年1月9日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



看板を立てる場所と内容の計画

寒さ厳しい中、多数の方々が集まって作業に加わってくださった



看板の原稿は、過去に作成しラミネート済みのもので、裏用は半分に切って再度ラミネートして貼った。



看板は10本つくり、所定の場所につるはしで穴をあけた

図面・写真等 添付面

日時	2021年1月9日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



穴に杭を立て、かけやで打ち込んだ



打ち込みでゆるんだところは木工ボンドで補強していただいた



北側は低く草刈りされて、新芽も出てきていた



中央の子ガヤはかなり残ったままにしている



出入口には意義を示す看板も立てた



侵入禁止のための「出入口はあちら」



法面から駆け降りる人を防ぐための看板位置



野草広場と実生林の境目のコナラ実生並木